

100万人のウイグル人やカザフ人たちを救って！

私は、中国政府（駐日中国大使）に対して、100万人にも及ぶウイグル人やカザフ人たちの不当な拘束をやめるよう、要請します。

※集まった署名は、アムネスティ日本でとりまとめ、要請先に提出します。Email アドレス・電話番号は提出しません。

※後日、メール、お電話にてアムネスティ日本から活動紹介のご連絡を差し上げる場合がございます。



父親の写真を掲げるポタ・クサインさん © Amnesty International

26歳のカザフ人学生、ポタ・クサインさんとその家族は、2013年に中国・新疆ウイグル自治区からカザフスタンへ移住し、そこで幸せに暮らしていました。ところが、2017年11月、父親が治療を受けるために同自治区へ戻ったきり、帰ってきませんでした。3カ月後、「再教育のために」強制収容所へ送られたことを親族から聞かされました。父親の消息は、依然として不明です。

ポタさんの話は、めずらしいものではありません。中国・新疆ウイグル自治区では現在、100万人にのぼる人々が、不当に拘束されているとみられています。その多くはイスラム教の信仰を持つウイグル人やカザフ人たちで、宗教・文化を大切にしている人々です。

この拘束は、国家と中国共産党への政治的忠誠を強化させるために、信仰や文化的アイデンティティを捨てさせようとする中国政府の取り組みの一環です。

	氏名	フリガナ	Email アドレス アムネスティ日本からメールマガジンをお送りします	電話番号	年代	会員/ HRS
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						